



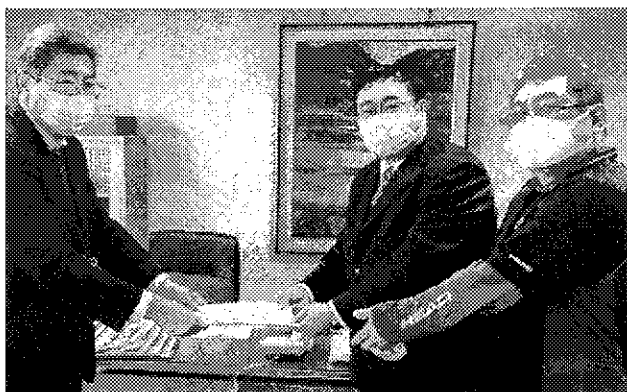
秋厚労ニュース

NO1947号
2020年11月11日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

25市町村へ陳情

秋田県医労連

10月16日～11月5日、秋田県医労連で自治体陳情キャラバンが行われ、秋厚労3人を含む7人が参加。国へ意見書の提出を求める「陳情」を市町村議会に提出し、懇談しました。



県内の25市町村議会を訪問し、「安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情（右下）」を提出しました。対応してくれたのは、議長、全員協議会（全議員で行う会議）、議会事務局など、市町村によって様々です。



医療現場の現状を説明すると、ある自治体では「地域になくはならない病院を無くすのは、災害と同じ。われとわが身の問題」と思いを語ってくれました。「頑張ってもらいたい」「新型コロナのことで、体制の脆弱さに気づき始めている」と、激励の言葉を

「頑張ってもらいたい」と激励の言葉も

日本医労連は、国の社会保障抑制策の転換を求め、全国で自治体陳情キャラバンを行っています。秋田県では昨年、2種類の陳情が、24市町村、20市町村でそれぞれ採択されました（左表）。

「安全安心の医療へ」国へ意見書の提出を求める

《昨年の自治体陳情キャラバンの結果》

	市町村議会の対応			
	採択	継続審査	趣旨採択	不採択
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出を求める陳情	24	1		
介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出を求める陳情	2	1	1	3

※ 不採択・・・秋田市、能代市、由利本荘市

8月に秋田県知事など1

安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情

【陳情項目】

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

来年も行ってみたい

参加した人は「勉強になった。今回訪問した所は事務局対応だったが、次は議長さんと話してみたい。来年も機会があれば行ってみたい」と話しました。

2県の知事が国に提出した「医師不足や地域間偏在の根本的な解消に向けた実効性のある施策の実施を求める提言」を紹介すると、「秋田県も入っているのですね」と意外な反応が返ってきました。